# お元気ですか つかじさちのフレッシュ便

第1042号

日本共産党高知県議会活動報告ニュース
2022年 8月28日発行
電話 088−823−9524（議会控室）
088−843−9281（自　宅）

## 「第7波」の対策急げ

### 党高知県委・県議団 県に緊急要請

日本共産党高知県委員会と同県議団は19日、浜田省司知事に新型コロナ「第7波」の危機的事態から県民のいのちを守る緊急要請をしました。

要請書は、「『第7波』が猛威を振るい、県内でも、連日1000人を超える感染者数を確認するなど、かつてない感染爆発が起こっている。医療施設や高齢者施設などの集団感染が相次ぎ、保健・医療体制のひっ迫は深刻」と指摘。▽保健所業務のひっ迫を改善するため派遣職員を抜本的に増員し、業務がひっ迫する時間帯にマンパワーを確保するなど運用の見直しをはかる▽自宅療養サポートセンター（仮称）等を設置し、保健所の関与を経ずに必要な食料・生活物資が自宅療養者に届く仕組みを構築する▽命を守る医療提供体制を維持するため、医師会等とも協力しマンパワー確保に尽力する―などを提起しています。

応対した井上浩之副知事は、自宅療養サポートセンターについて「よい提案だ」とのべたものの、「設置は考えていない。保健所を中心に、希望者にできるだけ届くように手配している」などと回答しました。

（写真左から3人目が松本けんじさん）

井上副知事（手前）に要請する塚地佐智・県議団長（右から2人目）ら＝19日、高知県庁

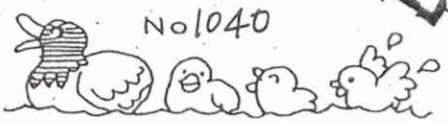
## 松本けんじさんも参加し 学生への支援を要請

副知事への要請に松本けんじさんも参加し、この間の在宅療養学生への食料支援活動と、その中で明らかとなった苦しさや不安の声の実態をリアルに訴えました。

8月9日から18日までで49人から505が届き、薬も食料も手に入らず、大学や医療機関にも対応してもらえない実態です。副知事からは「『オンライン診断』のルートで保健所の負担増にならない方法の検討の余地はある」との回答

## 「わるがも日記」

No1040



暦の上では"立秋"も過ぎたというのに、何というむし暑さでしょう。夏バテの季節、どうか体調に気をつけてお過し下さい。

先日、熱はないけど、何となく鼻声になっているなぁと心配になり、県が設置している大橋通りの無料検査センターでPCR検査を受けました。結果は陰性で一安心。待ち時間も含めて30分程で終了。手続きもとても簡単。他の人に感染させないために検査は大切だと思います。予約も不要です。

## 第54回全国保育団体合同研究集会 in 高知 6千人で大成功

リアルとオンラインで学びと交流を深めました。